

平成30年は世界人権宣言が国連で採択されてから70年の節目の年であり、国の内外においても人権思想の普及高揚に大きく貢献した年となりました。

21世紀の今日「人権尊重」は世界のあいことばと言われています。しかし現在わが国では、人権が侵害されているさまざまな事象が後を絶たず、最近ではインターネットを利用における新たな人権問題など増えつつあるのが実態です。

こうした状況の中で21世紀が人権の世紀であることの再認識を図るため、地区人権協では、平成30年度はグローバルな視点から人権問題を捉えて研修会を実施しました。

当協議会の第1回協力員研修では、県原爆被害者協会・事務局長の石川行弘さんに講演をしていただき、被爆の実相と核廃絶運動について学習しました。第2回は、在日韓国人2世の金泰鎮(キム テジン)さんから在日外国人への偏見や差別発言に

## 一年を振り返って

賀露地区人権啓発推進協議会  
会長 山根一記

## 人権啓発だより

# 賀露

第15号

賀露地区人権啓発推進協議会  
(賀露地区公民館内)  
☎(0857)28-1034

ついで講演を聴き、在日外国人の人権について理解を深めました。また現地視察研修は、最大の人権侵害である戦争を考え、その中でも原爆被害の大きさや悲惨さの認識強化を図るため、広島平和記念公園を訪問し、ボランティアガイドから詳細な説明を受けながら原爆ドーム、核慰霊碑などを見学しました。視察後、原爆被害がもたらす甚大な被害や悲惨さを深く受けとめ、核廃絶の必要性と重要性を再認識する良い機会となりました。

湖東ブロック人権啓発研修会では、米子市の拉致被害者松本京子さんの兄で松本孟さんにインタビュー形式で講演を聴きました。被害者や残された家族の気持ちを深く理解し、今後も拉致問題に関心をもち続けることが被害者の家族及び関係者の皆さんの大きな支えになることがよく理解できました。

また各町内の小地域座談会は、「風の匂い」「夢のつづき」のDVD研修を行い、身近な人権について全町内で実施していただきました。今後研修の成果を活かして賀露地区が住みよい明るい地域となることを切に願う次第です。今後とも皆様のご協力よろしくお願い致します。

2017年7月7日、国連で採択された(日本は不参加)「核兵器禁止条約」の前文には「ヒバクシャが受けた容認できない苦しみと被害を心に留める」と記されています。また、同年ノーベル平和賞を受賞した「核兵器廃絶国際キャンペーン」の被爆者のサロー節子さんは「私たちの光は核兵器禁止条約です」と力強く訴えています。核廃絶の動きが高まる今、広島平和研修を行います。

最初に負の世界遺産『原爆ドーム』を訪れ、その破壊された佇まいに「二度と同じような悲劇が起こらないように」との戒めと願いを強く感じました。「原爆供養塔」には、8万の遺骨が納められ、被爆後の混乱のなかでの

供養の思いを知り、『原爆の子の像』には、モデルとなった少女の思いが世界中で千羽鶴運動へと発展し、多くの千羽鶴が贈られていました。『平和の鐘』では核兵器廃絶を願い、皆で鐘を鳴らしました。

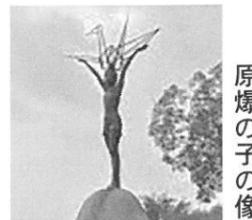
核兵器が全て無くなる日まで霊火が燃やし続けられている『平和の灯』には込められた深い憤りと哀しみを感じ、「安らかに眠ってください。過ちは繰り返しませんから」と刻まれた「原爆死没者慰霊碑」の一直線先には原爆ドームがありました。最後に見学した『平和記念資料館』では、原爆投下の歴史的背景から現在までの展示や被害者の遺品や写真が目につきました。

1945年8月6日、世界で初めて原子爆弾が投下され56万人が被爆し、いまなお毎年5千人が後遺症で亡くなっています。一発の原子爆弾により多くの命と未来を奪われた広島市の反核と恒久平和実現への深い思いを知りました。広島で起きたことは過去の問題ではなく、私たちに課せられた現在と未来の問題だと感じ、核廃絶へ向けたよう行動していくのか考える貴重な一日となりました。

(推進員 濱中千景)

## 現地視察研修 広島 平和記念公園を訪ねて

9月18日



原爆の子の像

## 公民館事業 保小公連絡会事業

### 5月30日 はじめましておともだち

賀露小学校体育館

### ～いきいきした賀露の子どもたち～



小学校1年生と賀露保育園、賀露みどり保育園年長児が仲間づくり、親交を目的に集いました。講師の船上山少年自然の家の指導員によるレクリエーションやゲームを楽しみ、交流を深めました。



はじめに拉致問題の今までの概要、北朝鮮当局の動き、解決に向けての政府の動きなどを鳥取県人権・同和対策課、中尾さんに説明をしていただき、次に政府認定拉致被害者の1人、松本京子さん(米子市出身)の兄、孟さんのお話を伺った。拉致事件が

## 湖東ブロック人権啓発推進協議会 2018年度 湖山地区担当 人権啓発研修会 9月2日 拉致問題を考える

発生してから長い歳月が経過し、帰国を待ち続けている家族のつらい思いや現状などを語られ、「多くの人に拉致問題に支援、協力していただくことが早い解決につながる」と参加者に呼びかけられた。

◇参加して……◇  
県の人権局の方のお話は大変わかりやすく、「北朝鮮当局」ときちんと説明されたので正しい理解につながった。また、北朝鮮の国民や日本国内の朝鮮学校への誤った知識(偏見)も正して行かなくてはいけないと思った。

## 人権推進員研修

### 子どもたちのネット事情

1月19日

講師 鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員 岡本三千代さん

「インターネット」という言葉を聞いて、だれがどのような目的で

## 今年度の実施状況(2018)

- 総会・第1回協力員研修 5/18 (33名)  
「ふたたび被爆者をつくらないためにー被爆者の実相と核兵器廃絶運動ー」
- 第2回協力員研修 11/27 (43名)  
「在日コリアンの現状と課題」
- 小地域座談会
 

1区	DVD	「夢のつづき」	2/17 (21名)
2区		「風の匂い」	9/15 (11名)
3区		「風の匂い」	12/11 (10名)
4区		「夢のつづき」	2/23 (17名)
5区		「風の匂い」	10/5 (22名)
6区		「夢のつづき」	2/16 (35名)
7区		「風の匂い」	11/25 (18名)
8区		「風の匂い」	11/10 (34名)
西浜		「夢のつづき」	2/3 (11名)
- 保小公連絡会 5/8 10/2 2/19
- 現地視察研修(公民館共催) 9/18 (26名)  
「広島平和記念公園を訪ねて」
- 各種研修会参加
  - ・湖東ブロック研究集会(湖山) 9/2 (8名)  
「拉致問題を考える」
  - ・湖東ブロック推進員研修(湖山) 1/19 (5名)  
「子どもたちのネット事情」
  - ・推進員研修(鳥取市、年2～5回) (4名)
  - ・人権尊重社会を実現する研究集会  
鳥取県(鳥取市) 8/8 (2名)  
鳥取市 8/21 (12名)
- 啓発活動
  - ・人推協だより15号発行
  - ・公民館だよりの活用
  - ・人権図書購入
  - ・ホームページ掲載

その仕組みを作って運営しているかを理解している人は少ないと思われる。だが、仕組みはわからなくても、インターネットにつながる道具を持つてば、その便利さを享受することはできる。道具には、パソコン、タブレット端末やスマホ、そしてゲーム機などがある。

これらの道具を使えば、役立つ情報が得られる反面、暴力的な表現やアダルト映像、人権の侵害につながる情報なども含まれている。特に、社会経験の少ない子どもにとってはその危険がわからない。

子どもがトラブルに巻き込まれないためには、道具を与える保護者が

インターネットの危険を知り、フィルタリングの利用にとどまらず、適切な利用のためのルールを作ることで成長に合わせたルールを少しずつ改訂し、ルールやマナーを守る習慣を身に付けさせることが必要であると痛感した。

(推進員 泡田 秀美)



# 小地域座談会

各区に於いて身近な人権問題を題材にしたDVD視聴後、意見交換をし、鳥取市人権教育推進員の田中さん、嶋田さん、小山さんにお話をいただきました。自治会、区長さんをはじめ賀露地区推進員、協力員の方にお世話になりました。多くの町民の参加をいただきましたありがとうございました。

2・3・5・7・8区



DVD「風の匂い」  
～障がい者の人権～

スーパーマーケットで働く知的障がいのある青年とその幼なじみ。大人になった二人を隔てる健常者と障がい者という壁。その壁を作っているのは誰なのか……。社会のバリアについて考えます。



3区  
参加して・・・  
この会でDVDを視たり話を聞くことで自分に欠けていることを思い返すことができた。相手を理解するにはしっかり向かい合うことが大切だ。



8区  
参加して・・・  
さまざまな方が地域におられることをわかって生活の中に配慮していく必要がある。考えるきっかけとなった。



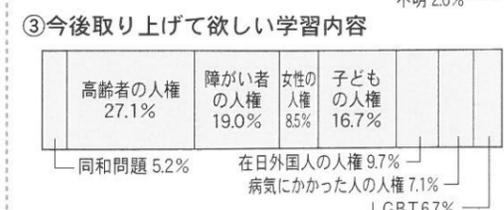
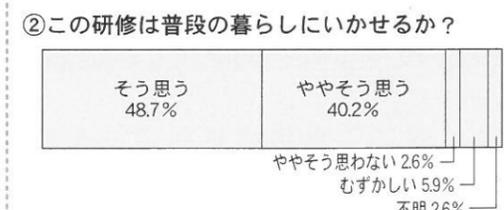
7区  
参加して・・・  
「心を込める」=相手のことを大切に思うこと……ふだんから心にとめておきたいと思った。

鳥取市 田中推進員の話より  
「障がい者である前に人間である。平等に生きる権利がある。皆と同じ人間である」  
(カナダ・ピープルファースト)



## 小地域座談会アンケート結果

今年度の参加者179名のうち152名の回答をまとめました。



その他 (子ども、高齢者の虐待・いじめ)  
\*ご協力ありがとうございました\*

1・4・6・西浜区



DVD「夢のつづき」  
～高齢者の人権～

現代社会における高齢者に対する虐待や悪質商法などの人権侵害、認知症を患う高齢者や介護に疲れた家族：若者との交流を通して家族のふれあいの大切さや夢を持って生きることの重要性を描いています。



1区  
参加して・・・  
共に生きていく地域の中で高齢者問題を他人事とせず、お互い心を開き共に取り組むことができればよいと思った。



西浜  
参加して・・・  
自分自身も高齢になってきているのでとても参考になった。若い人たちにも見て欲しい内容だった。



# 人権啓発協力員研修

さまざまな人権課題を取り上げ、自治会役員、各区協力員、各団体長、学校関係の方々研修を受けました。

## 第1回協力員研修 5月18日

### ふたたび被爆者を つくらないために

#### ―被爆者の実相と 核兵器廃絶運動―

講師 鳥取県原爆被害者協議会 事務局長 石川行弘さん

9月に行われた現地視察研修「広島平和記念公園を訪ねて」の事前学習として石川さんからお話を聴きました。戦争は最大の人権侵害といわれています。その中でも原爆による被害、被爆者数のデータ、広島原子爆弾についての内容、核兵器の怖さ、人体や自然界に及ぼす影響や各廃絶の世界的な動向について話されました。また、被爆者への差別、偏見、風評被害について「無知が差別を生む、事実を知るといことが差別を無くす活力となる」と言われ、正しい知識を学習する大切さを感じました。最後に原子爆弾な

ど核兵器を無くすことと、核廃絶を強く訴えられました。(自治会 雁津敏明)

- ◆感想
  - ・被爆者差別があったという事実はとても悲しく残念なことだ。正しい知識をえることが大切。
  - ・被爆された方の話を聴くのは初めてだったが改めて原爆の被害の大きさを痛感した。原爆により亡くなられた方々の無念を思うと言葉にならない。戦争はしてはならないと強く思った。
  - ・核廃絶に向かい、世界的な動向を知る事ができた。



## 第2回協力員研修 11月27日

### 在日コリアンの現状と課題

講師 在日韓国人2世 金泰鎮さん

在日韓国人2世、金泰鎮さんの研修に参加しました。間違った考え、偏見はまだなくなっていない、社会参加もまだできていないなど聴き、本当に私は現状も何も知らないのでもうまだ勉強をして行かなくてはいけないと感じました。

『ヘイトスピーチ解消法』が制定されて3年たちました。今までの研修の中でヘイトスピーチの実情をDVDで見たことがありますが、これが人のすることか？これが子どもたちに対して言っていることか？同じ日本人として悲しく情けない気持ちになりました。

以前韓国人アーティストのライブに行きましたが、そこには今メディアで騒がれているようなことはまるでなく、とても幸せで平和な時間を過ごしました。身近な家族でもわかりあえないこともあるのに民族や国籍が違えばもつとわからないこともありま。しかし、わからないままにしておくのではなく、今こそ一人ひとりが違いを認め合い、つながりわかろうとすれば世界中が平和

で幸せになれるのではないかと感じました。(推進員 網師かよ子)

- ◆感想
  - ・在日外国人は日本国籍がないために参政権はなく、就職差別がまだあることを知った。
  - ・体験に基づく話なので想いが伝わった。広い視点での人とのつながりができればいいと感じた。
  - ・今でも外国人に対する差別の多さに驚くと共に悲しくなる。自分の中にもその意識が少なからずあるのかと思ったりする。



- ### 2018年度役員
- |     |       |
|-----|-------|
| 会長  | 山根 一記 |
| 副会長 | 深澤 修一 |
| 自治会 | 雁津 敏明 |
| 推進員 | 濱中 千景 |
|     | 網師かよ子 |
|     | 泡田 秀美 |
|     | 森原すみ子 |